

# 上越市地球温暖化対策実行計画

(区域施策編・事務事業編)

## 概要版

平成28年3月策定

### 地球温暖化とは

#### 地球温暖化とその影響

地球温暖化とは、地球の温室効果が必要以上に高まったことなどにより、地球規模で気温上昇が進行する現象のことをいいます。その原因は、文明の進歩に伴って化石エネルギーなどが大量消費され、大気中の二酸化炭素などの温室効果ガス濃度が増えるためといわれています。

地球温暖化によって気温が上昇すると、日本では熱帯夜や豪雨日数の増加、熱中症患者の増加、動植物など生態系への影響の拡大、農作物の品質低下、社会的・経済的な影響などが懸念されています。



作物がとれなくなる



氷がとけ陸地が少なくなる



生きものがすめなくなる



洪水・干ばつが多くなる



病気がふえる

#### 影響は上越市にも…

上越市においても例外ではなく、今後は異常気象発生による降雨や降雪量の増加・減少、雪不足によるスキーなどの観光業への影響、都市型洪水の発生、農作物の品質の低下、熱中症患者の増加などの影響が懸念されています。

出典：環境省「地球温暖化パネル」より(図のみ)

### 上越市地球温暖化対策実行計画とは

上越市地球温暖化対策実行計画は、地域の特性を踏まえた持続可能な低炭素社会の形成をめざすとともに、市民・事業者・市が一体となって、総合的かつ計画的に地球温暖化対策に取り組むため、上越市の温室効果ガス排出量の現況や削減目標、市民・事業者・市が行う具体的な取組などを示しています。

#### 上越市地球温暖化対策実行計画

##### 区域施策編

<上越市全域の温室効果ガスの削減に関する計画>

###### ◆計画の期間◆

2016(平成28)年度～2022(平成34)年度

###### ◆基準年度◆

2012(平成24)年度

###### ◆目標年度◆

短期目標：2022(平成34)年度

中期目標：2030(平成42)年度

長期目標：2050(平成62)年度

###### ◆対象とする範囲◆

上越市全域および全ての主体(市民・事業者・市)

##### 事務事業編

<市の事業に伴う温室効果ガスの削減に関する計画>

###### ◆計画の期間◆

2016(平成28)年度～2022(平成34)年度

###### ◆基準年度◆

2014(平成26)年度

###### ◆目標年度◆

2022(平成34)年度

###### ◆対象とする範囲◆

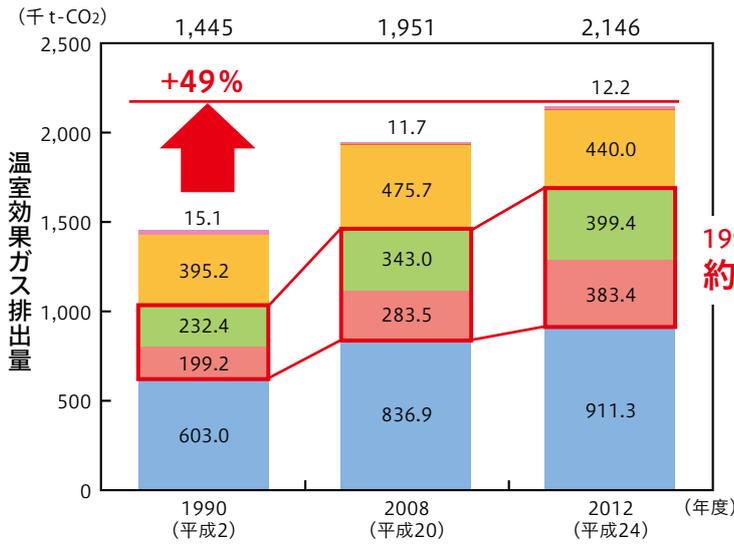
市が実施する全ての事務事業

(市庁舎、市管理施設、市立の小中学校、診療所及び指定管理施設など)

## 上越市域における温室効果ガス排出量の現況

上越市域より排出される温室効果ガスは、2,146千t-CO<sub>2</sub>となっており、1990年度から2012年度の間に約49%増加しています。

部門別の温室効果ガス排出量では、製造業などの産業部門の割合が最も高くなっています。民生家庭と民生業務部門の温室効果ガス排出量は、1990年度から2012年度の間に約1.8倍に増加しています。

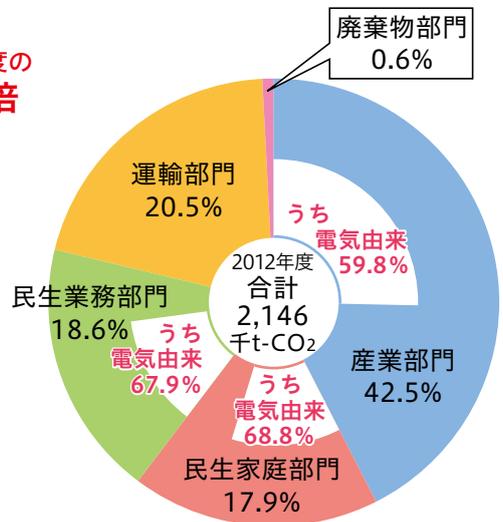


- 廃棄物部門 (家庭、産業、事業からの廃棄物や排水)
- 運輸部門 (自動車、鉄道、船舶)
- 民生業務部門 (第3次産業(小売業・卸売業など)、地方公共団体)
- 民生家庭部門 (家庭生活)
- 産業部門 (第1・2次産業(農林業、鉱業、建設業、製造業))

上越市の温室効果ガス排出量の推移

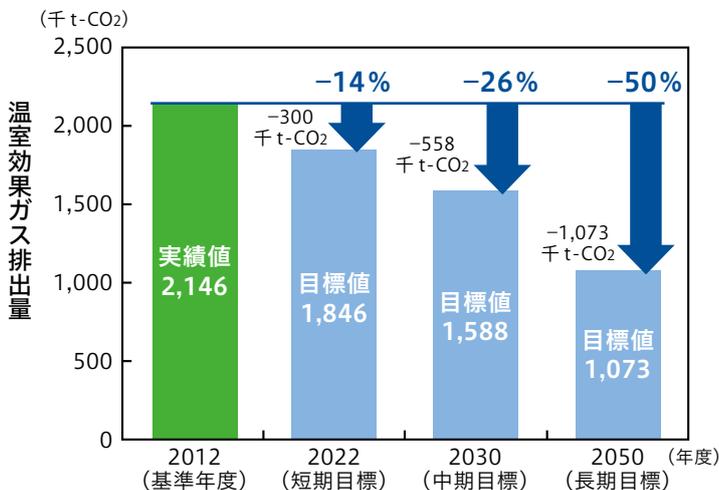
上越市域から排出される温室効果ガスは、その半数が電気に由来しており、電気の使用量が当市の温室効果ガス排出量に大きな影響を与えています。

1990年度の約1.8倍



部門別の温室効果ガス排出量と各部門に占める電気由来排出量の割合

## 削減目標



### 上越市域における温室効果ガス削減目標

上越市域の温室効果ガス排出量を2022(平成34)年度までに

2012(平成24)年度比

**14%削減**

することをめざします

※削減目標については、国や国際社会の動向や、排出量削減の状況に応じて見直しを検討します。



# 地球温暖化防止に向けた取組

本計画では、上越市域の温室効果ガス排出量の現状や地域特性を踏まえ、温室効果ガスを削減するための取組を進めるために、5つのテーマと11の基本方針を掲げています。

これらの取組は、市民・事業者・市が一体となって進めていく必要があります。

## 地球温暖化防止に向けた取組内容

テ ィ マ	基 本 方 針 と 個 別 施 策
<b>I</b> エネルギー利用による 二酸化炭素を減らそう ～化石燃料由来の二酸化炭素削減～	①再生可能エネルギーを利用する ◆太陽光発電の導入推進、バイオマス資源・エネルギーの利用推進、雪冷熱エネルギーの利用推進、温度差エネルギーの利用推進、小水力発電の導入推進
	②省エネルギー化を推進する ◆公共施設の省エネルギー化の推進、産業活動・事業活動の省エネルギー化の推進、ライフスタイル・住宅の省エネルギー化の推進
	③農林業を推進し二酸化炭素の吸収を進める ◆森づくりの推進、環境保全型農業の推進
<b>II</b> 二酸化炭素の排出が少ない まちをつくろう ～低炭素型まちづくりの推進～	④自動車の利用や運転を見直す ◆公共交通機関の利用促進、車に頼り過ぎないくらしの推進、エコドライブの推進
	⑤環境にやさしい車を利用する ◆低燃費自動車や次世代自動車の導入の誘導
<b>III</b> 熱環境を見直し、 快適にくらそう ～暑熱環境の緩和～	⑥緑の活用を進める ◆建物や敷地の緑化推進
	⑦建物等の断熱により熱環境を改善する ◆建物等の高温化の抑制
<b>IV</b> 限りある資源を有効に利用し 持続可能な社会をつくろう ～循環型社会の形成～	⑧ごみの発生・排出を抑制する ◆ごみの発生抑制、ごみの分別排出の推進
	⑨資源循環を進める ◆地産地消の推進、資源循環ビジネスの促進、効率的なごみ処理の実施
<b>V</b> 一人ひとりが自覚を持って 地球温暖化対策に取り組もう ～人づくり・意識啓発の推進～	⑩意識啓発に取り組む ◆温暖化問題に関する意識啓発の推進
	⑪あらゆる主体との連携に取り組む ◆市民、事業者との協働による取組の推進



## エコライフに挑戦しよう

### ◆お風呂◆

シャワーの使用時間を1分短縮する

- ◆1年間で約3,180円節約
- ◆1年間で二酸化炭素を約29kg削減

### ◆洗濯◆

洗濯物はまとめ洗いを

- ◆1年間で約3,980円節約
- ◆1年間で二酸化炭素を約3kg削減

### ◆キッチン◆

<調理>

野菜の下ごしらえにガスコンロではなく、電子レンジを活用する（ハウレンソウ、キャベツの場合）

- ◆1年間で約1,060円節約
- ◆1年間で二酸化炭素を約11kg削減

資料：「家庭の省エネ徹底ガイド」  
 （資源エネルギー庁、2015年3月）を基に作成

## わたしたちにできること

温室効果ガスを削減するための取組例を以下に示します。地球温暖化を防ぐには、わたしたち一人ひとりが自覚をもち、積極的に行動していくことが必要です。

### 市民の取組

#### ◆再生可能エネルギーに関すること

- ・住宅に、太陽光発電システムやペレットストーブ、コージェネレーション等、再生可能エネルギーを利用した設備導入を進めましょう。

#### ◆省エネルギー化に関すること

- ・家電等の買い替えや新規購入の際は、省エネ性能に優れた製品の購入に努めましょう。

#### ◆自動車に関すること

- ・自動車を利用する際は、エコドライブに取り組み、近距離は徒歩や自転車を利用しましょう。
- ・自動車の購入や利用する際は、低燃費自動車や次世代自動車を選ぶよう努めましょう。

#### ◆緑化に関すること

- ・緑のカーテンを実践しましょう。

#### ◆建物に関すること

- ・住宅を新築・改築する際は、断熱性の高い建材の利用や、パッシブデザインの活用を検討しましょう。

#### ◆ごみに関すること

- ・買い過ぎなど不要品の購入を控え、詰め替え用品を選ぶなど、環境に配慮した製品を購入しましょう。

#### ◆資源循環に関すること

- ・地元の農産物や木材を積極的に購入・利用しましょう。

#### ◆意識啓発に関すること

- ・環境に関するイベントや、自然体験、教室等に積極的に参加し、地球温暖化に関する意識を高めましょう。
- ・市や事業者が実践する温室効果ガスを削減する活動に、積極的に協力しましょう。 など

### 事業者の取組

#### ◆再生可能エネルギーに関すること

- ・工場や店舗、事務所等に、太陽光エネルギーやコージェネレーション等、市に適した再生可能エネルギーを利用しましょう。

#### ◆省エネルギー化に関すること

- ・クールビズ等オフィスでのエコ活動を進め、設備機器の更新、新規導入の際は省エネに優れた設備機器を選びましょう。

#### ◆自動車に関すること

- ・外出や出張で自動車を利用する際は、エコドライブに取り組みましょう。
- ・自動車の更新や新たに購入する際は、低燃費自動車や次世代自動車の導入を検討しましょう。

#### ◆緑化に関すること

- ・屋上、壁面、駐車場の緑化等、敷地内の緑化に努めましょう。

#### ◆建物に関すること

- ・建物の新築や改修の際は、断熱性の高い建材の利用や、パッシブデザインの活用を検討しましょう。

#### ◆ごみに関すること

- ・店舗では過剰包装を自粛するとともに、レジ袋減量のためマイバッグの利用促進に努めましょう。

#### ◆資源循環に関すること

- ・事業活動で出たごみは、自らの責任で適正処理するとともに、紙類等、資源化が可能なものはリサイクルしましょう。

#### ◆意識啓発に関すること

- ・環境活動やイベント、自然体験、教室等に積極的に参加し、地球温暖化に関する意識を高めましょう。
- ・市や市民、その他関係機関と連携し積極的に温室効果ガスの削減に取り組みましょう。 など

## エコライフに挑戦しよう

### ◆リビング◆

#### <照明器具>

照明器具を電球型 LED ランプに取り替える

- ◆ 1年間で約 2,410 円節約
- ◆ 1年間で二酸化炭素を約 51kg削減

### ◆キッチン◆

#### <電気ポット>

電気ポットを長時間使用しないときはプラグを抜く

- ◆ 1年間で約 2,900 円節約
- ◆ 1年間で二酸化炭素を約 61kg削減

じょうえつちゅうぎたい  
上越忠義隊  
けんけんず  
と一緒に

# やってみよう! おうちでできるエコ行動

名前 \_\_\_\_\_

じょうえつちゅうぎたい  
上越忠義隊けんけんず



家での行動をふりかえりながら、あてはまるものに○をつけ、合計を計算してみよう!  
どれだけエコ行動ができてるかな?

エコ行動		よくできた	まあまあできた	できなかった
①	ポットや炊飯器などの家電製品は使わない時、コンセントをぬく。	2	1	0
②	部屋の明かりをこまめに消す。	2	1	0
③	冷房の温度は28℃、暖房の温度は20℃を目安に設定する。	2	1	0
④	エアコンは必要な時だけつける。	2	1	0
⑤	エアコンのフィルターの掃除は、こまめに行う。	2	1	0
⑥	電気こたつや電気カーペットの設定温度は、低めに設定する。	2	1	0
⑦	テレビを見ない時は消す。	2	1	0
⑧	冷蔵庫にものを詰めすぎたり、むやみに開けたりしない。	2	1	0
⑨	シャワーは流しっぱなしにしない。	2	1	0
⑩	部屋を片付けてから掃除をする。	2	1	0

合計 \_\_\_\_\_ 点

0～4点：行動がエコじゃありません。がんばってエコ行動に取り組みましょう。  
5～15点：エコ行動ができています。さらにエコ行動に取り組んでエコ行動マスターを目指しましょう。  
16～20点：エコ行動マスター。これからもエコ行動に取り組みましょう。



みんなが①～⑩のエコ行動に取り組んでくれると1年間で約23,000円も節約できるのよ!  
一緒にがんばりましょう!

①～⑩のエコ行動に取り組んで減らした二酸化炭素の量は、ぼくたち31本分が1年間に吸収する二酸化炭素の量と同じなんだ。



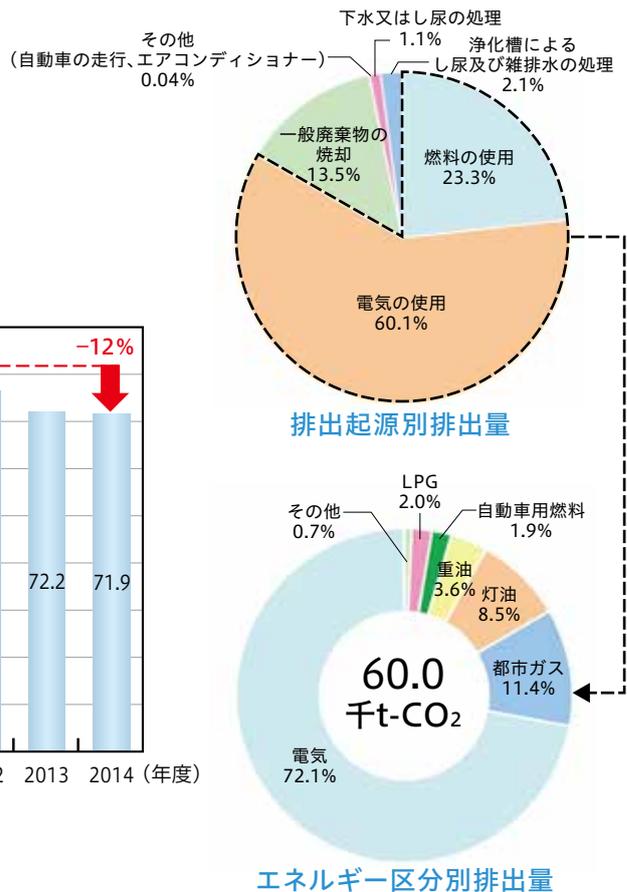
※家庭や学校での取組などが記載してある、子ども向け資料の詳細は、計画本編の資料編にあります。

## 事務事業における温室効果ガス排出量の現況

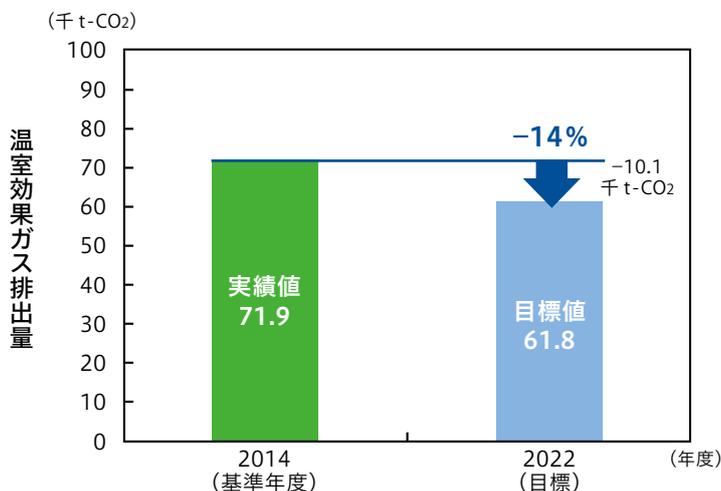
当市の事務事業より排出される温室効果ガスは、71.9千t-CO<sub>2</sub>となっており、近年の中で温室効果ガス排出量が最大となっている2010年度と比べると、約12%減少しています。これは、東日本大震災以降の省エネルギーの取組努力や、省エネ技術・再生可能エネルギーの導入、公共施設の効率的運用等が影響していると考えられます。

2014年度の排出起源別の温室効果ガス排出量は、電気の使用が最も多く約60%を占めており、次いで燃料の使用が約23%、一般廃棄物の焼却が約14%となっています。

エネルギー区別の二酸化炭素排出量では、電気の割合が最も高く、次いで都市ガス、灯油の順となっています。とくに、電気由来の二酸化炭素排出量はエネルギー区分全体の約72%を占めており、事務事業の温室効果ガス排出量に大きな影響を与えています。



## 削減目標



事務事業における温室効果ガス削減目標

上越市域の温室効果ガス排出量を2022(平成34)年度までに

2014(平成26)年度比

**14%削減**

することをめざします

※削減目標については、国や国際社会の動向や、排出量削減の状況に応じて見直しを検討します。



## 地球温暖化防止に向けた取組

本計画では、事務事業の現状を踏まえ温室効果ガスを削減するための取組を進めるために、5つの基本方針と10の取組項目を掲げています。市は地域の環境行政の担い手として、これらの取組を率先して行い温室効果ガスの削減に取り組むと共に、これらの取組を通じて市民や事業者の普及啓発を図っていきます。

### 地球温暖化防止に向けた事務事業の取組内容

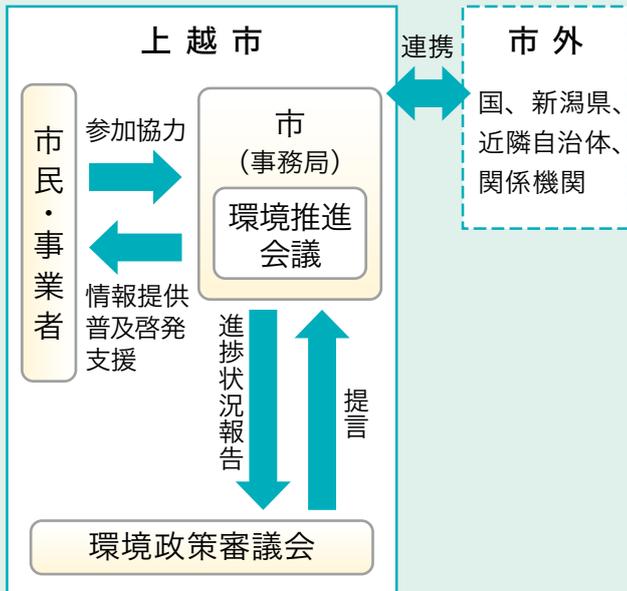
基本方針	主な取組項目
再生可能エネルギー利用の推進	(1)再生可能エネルギーの導入に関する取組 ・太陽光発電やバイオマスエネルギー、温度差エネルギー、雪冷熱エネルギー等、上越市に適した再生可能エネルギーを利用した設備の導入を積極的に検討します。 など
	(2)省エネルギー化に関する取組 ・不要な照明の消灯に努めます。 ・エネルギー管理を行い、エネルギーの適正な使用を進めます。 など
省エネルギー化の推進	(3)グリーン購入に関する取組 ・上越市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づき、物品やサービスの購入に努めます。 など
	(4)車の利用に関する取組 ・急発進や急加速を避け、エコドライブの徹底に努めます。 ・無駄な走行を控え、走行距離の短縮化を図ります。 など
	(5)建物等の建築・管理に関する取組 ・緑のカーテンや壁面緑化等、緑化を推進し、冷房の使用を控えるよう努めます。 など
	(6)水の使用に関する取組 ・水道設備更新の際は、節水型の設備の選択に努めます。 ・定期的な点検を行い、漏水を防止します。 など
省資源・リサイクルの推進	(7)紙の使用に関する取組 ・上越市グリーン購入調達方針に基づく用紙の利用に努めます。 ・雑誌や段ボール、リサイクル可能な用紙など、紙類の分別を進めます。 など
	(8)ごみに関する取組 ・マイカップやマイ箸、マイボトルを持参し、紙コップ等の使い捨て品の使用を減らします。 など
	(9)フロン類の管理に関する取組 ・フロン類を使用しているエアコン・冷凍冷蔵機器については、簡易点検や定期点検を行うとともに点検の記録・保管を行います。 など
職員の意識向上の推進	(10)研修・意識啓発に関する取組 ・職員を対象に、定期的に環境関連の情報提供等を実施します。 など

# 計画の推進に向けて

本計画では、計画の実効性を高め、取組を効果的に推進するために下図の推進体制で進行管理を行っていきます。

## < 区域施策編 >

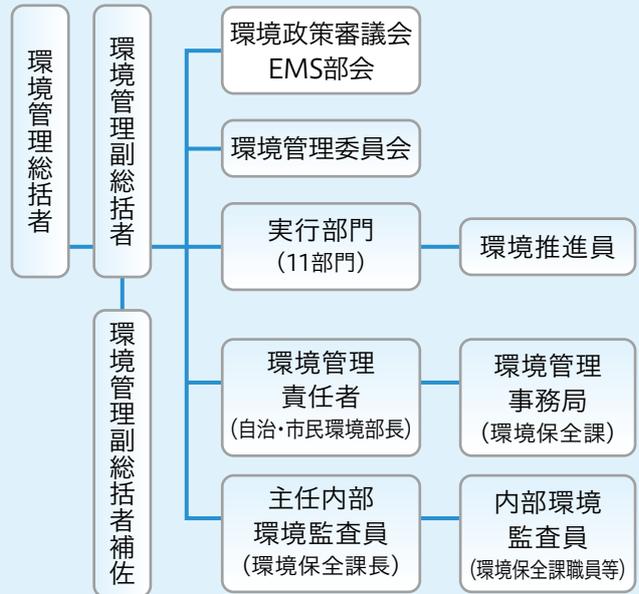
- ・市民、事業者、市が互いに連携して効果的に推進する体制を構築するとともに、適切な進行管理を行っていきます。



区域施策編の推進体制図

## < 事務事業編 >

- ・上越市環境マネジメントシステム (JMS) の運用体制を活用し、適切な進行管理を行っていきます。



事務事業編の推進体制図

## エコドライブに挑戦しよう!

### < ふんわりアクセル「eスタート」 >

車の発進は緩やかに!

- ◆ 1年間でガソリン 83.57ℓ の省エネ
- ◆ 1年間で約 13,040 円節約
- ◆ 1年間で二酸化炭素を約 194kg削減

### < 早めのアクセルオフ >

早めにアクセルから足を離してエンブレキで減速!

- ◆ 1年間でガソリン 18.09ℓ の省エネ
- ◆ 1年間で約 2,820 円節約
- ◆ 1年間で二酸化炭素を約 42kg削減

### < アイドリングストップ >

信号待ち、停車時はエンジン停止!

- ◆ 1年間でガソリン 17.33ℓ の省エネ
- ◆ 1年間で約 2,700 円節約
- ◆ 1年間で二酸化炭素を約 40kg削減

### ふんわりアクセル「eスタート」

最初の5秒で時速20キロが目安! 少し緩やかに発進すると11%程度燃費が向上します。

### 加加速度の少ない運転

速度にムラのある走り方をすると加加速度の機会も多くなり、その分市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。



アクセルから足を離してエンジンブレーキで減速...

エコドライブのすすめ

資料:「家庭の省エネ徹底ガイド」(資源エネルギー庁、2015年3月)を基に作成

「上越市地球温暖化対策実行計画」(平成28年3月策定)  
計画本編及び概要版は上越市ホームページにも掲載しています。

<http://www.city.joetsu.niigata.jp/>

上越市 自治・市民環境部 環境保全課

〒943-8601 新潟県上越市木田1丁目1番3号  
TEL:025-526-5111(代) FAX:025-526-6111